

使用料改定の影響（一例として）

令和2年度決算 使用料収入
625,437千円（収益的収入の約22.8%）

10%増と仮定

+62,544千円

687,981千円
（収益的収入の約24.5%）

市の事業で例えると…

・小規模事業者応援給付事業 66,600千円

【コロナ対策】小規模事業者に対し、
1事業者につき3万円の応援金を交付
（交付 2,220件）

・しぶかわ飲食店応援キャンペーン事業 54,371千円

【コロナ対策】市内飲食店で利用で
きる「味彩クーポン券」を全戸配布

道路の舗装の打ちかえに換算
すると、約1,800m

20%増と仮定

+125,087千円

750,524千円
（収益的収入の約26.2%）

市の事業で例えると…

・保育料の無料化（市独自の 上乗せ支援）115,038千円

保育料の完全無料化を実施
※国の無償化への上乗せ
（対象児童数 延べ7,097人）

・都市公園等施設管理事業 131,817千円

渋川市公園条例に規定されている83
公園の管理運営（（公財）渋川市ま
ちづくり財団への指定管理料）

道路の舗装の打ちかえに換算
すると、約3,600m

30%増と仮定

+187,631千円

813,068千円
（収益的収入の約27.8%）

市の事業で例えると…

・子ども医療費助成事業 181,583千円

15歳に達する年の年度末までの子ども
を対象に、保険診療に係る自己負
担額を全額助成（助成者数7,345人）

・通学バス運行事業 212,478千円

遠距離通学する児童生徒への通学バ
スを運行（市内19路線）

道路の舗装の打ちかえに換算
すると、約5,400m

※市の事業の金額は、令和2年度決算額。

※道路の舗装の打ちかえは、表層100㎡施工を基にした概算値で、幅4.0mの道路を想定